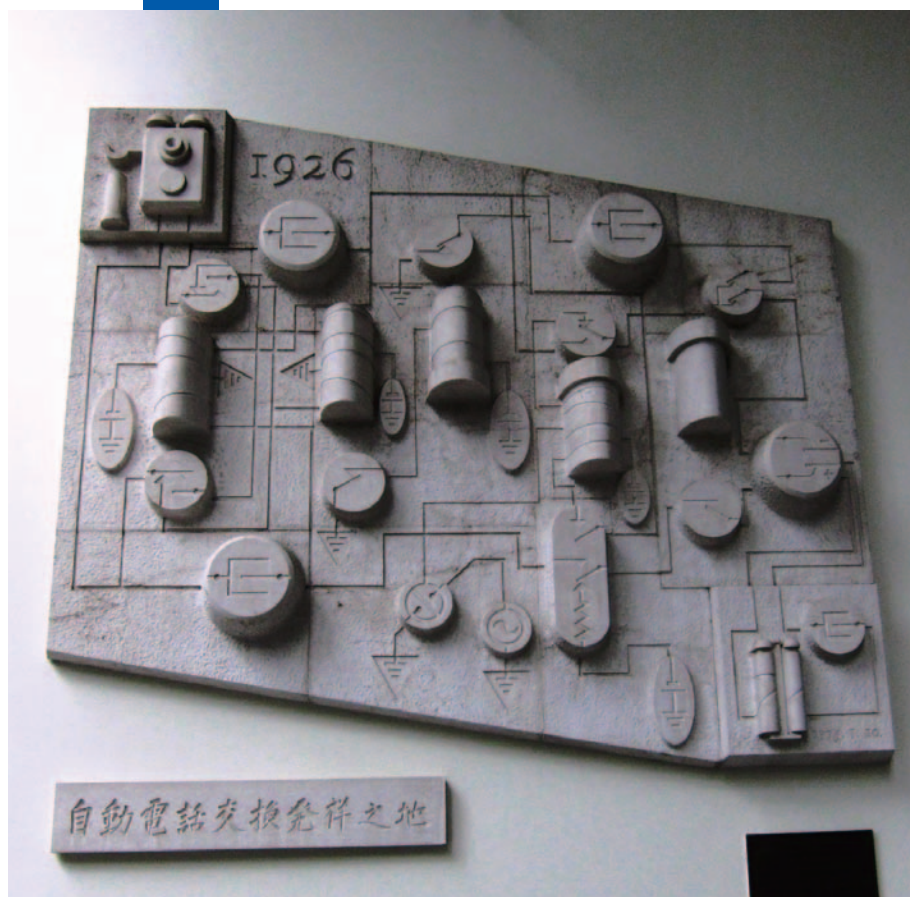


都学歯 広報

目次

- 学校歯科医の職務について 五十里 一秋 2・3
- 地区学校歯科医会からのメッセージ 世田谷区学校歯科医会／調布市歯科医師会学校歯科医部会 インターネットでの第69回学童歯みがき大会に参加して 4・5
- 地区ニュース 杉並／板橋／麻布赤坂／八王子 トピックス 城北ブロック連絡協議会／第63回関東甲信越静学校保健大会・歯科職域部会／平成24年度東京都立高等学校保健研究会役員連絡協議会／平成24年度 歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール審査会／平成24年度予算決算特別委員会／平成24年度ブロック別学校歯科医研修会／平成24年度 学校保健（学校歯科医）研修会／平成24年度 学校歯科医基礎研修会／歯の作文審査会／第76回全国学校歯科保健研究大会 8・10
- 食後の歯みがきのタイミングについて 12
- 第47回東京都学校歯科保健研究大会・予告 12
- 会務報告・計報 11

TOGAKUSHI KOHO



都内発祥地シリーズ ㉔

『自動電話交換発祥の地』

自動電話交換は、大正15（1926）年1月20日、旧京橋電話局において業務を開始した。碑のデザインは当時の自動電話交換機の回路図。

（所在地 中央区銀座一丁目）

写真と文 関根正行



社団法人 東京都学校歯科医会

〒102 東京都千代田区九段北4-1-20
-0073 TEL.03-3261-1675

<http://www.tasd.or.jp>

E-mail tasd@tasd.or.jp

発行人／鈴木 博

印刷／一世印刷株式会社

105

2012. 11

学校歯科医の職務について

東京都教育庁 歯科保健担当課長 五十里 一秋

はじめに

学校歯科医は、歯科医師法による「歯科医師」としての身分と学校保健安全法で定められている「学校歯科医」としての身分を併せ持ち、学校の中で、歯科保健活動を展開していきます。学校での「歯・口の健康づくり」は、健康教育の題材として優れているだけでなく、幼児・児童・生徒の人間性や基本的な生活習慣を形成する上で大きな力となります。すなわち、子どもたちの「生きる力」を育む基礎になるわけです。

学校歯科保健の領域

学校歯科保健活動は、図1のように歯科保健教育、歯科保健管理、組織活動の3つで構成されています。保健教育や保健管理を行って子どもたちや教職員の健康を保持増進させ、組織活動により保健教育や保健管理を円滑に展開することが不可欠です。

歯科保健教育

保健教育の目的は、健康課題をよりよく解決す

る能力や資質を身につけて、生涯安全な生活を送ることです。健康課題には、新型インフルエンザのように突然起きるものがあります。知識を身につけ、実践できる力を育成することが求められています。そのため、保健学習（体育科、関連教科、総合的な学習）や保健指導（学級活動、学校行事等）にう触、歯周病、食べる機能、歯・口の外傷等の課題で積極的に関わってください。

歯科保健管理

健康管理には、学校の環境を衛生的に保つ対物管理がありますが、今回は対人管理について説明します。対人管理には、健康診断、健康相談、要観察者の継続観察・指導等が挙げられます。健康診断の目的は成長状況の把握、疾病の早期発見・対応、保健教育への活用で、定期健康診断と就学时・臨時健康診断があります。健康診断は、確定診断ではなく、スクリーニングとしての視点が重要であり、保健指導や保健学習の生きた教材となります。また、健康相談や要観察者の指導は子どもたちの健康保持増進に寄与します。

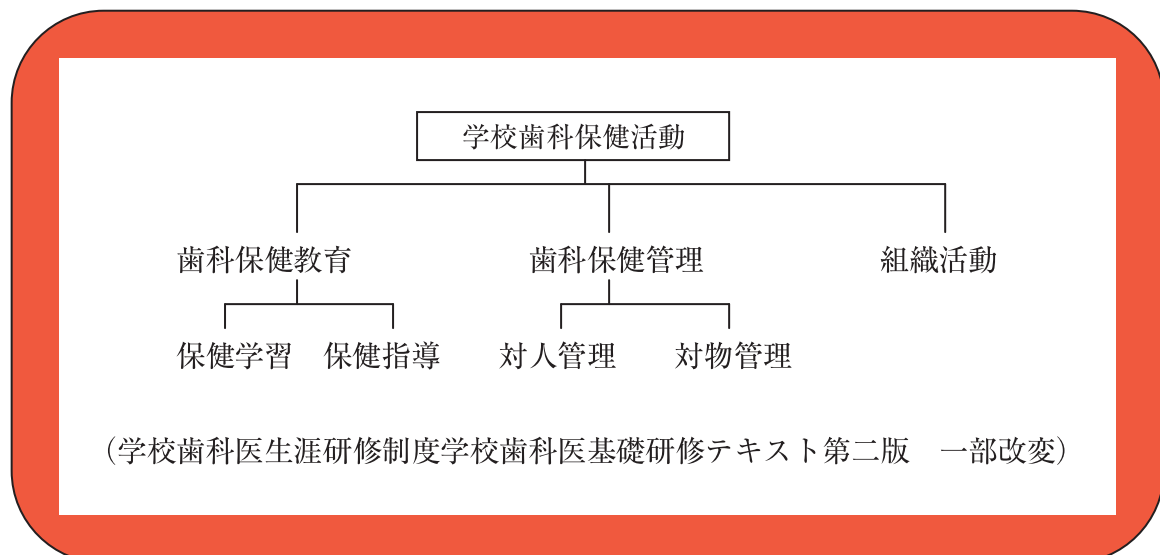


図1 学校歯科保健活動の領域

組織活動

子どもたちは学校だけでなく、地域で生活しています。また、学校保健の課題は学校、家庭、地域が連携して実践的に解決し、人間関係の受け皿を形成していく必要があります。学校内の協力体制確立やPTAや学校保健委員会等を通じた家庭との連携が重要な第一歩です。学校教職員、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、保護者で構成する学校保健委員会、さらに、地域の関係者が加わる地域学校保健委員会は学校歯科医の考えを理解してもらうチャンスです。是非参加してください。また、子どもたちはそれぞれかかりつけ歯科医を持っています。ご自身もかかりつけ歯科医としてご活躍のことと存じますが、学校歯科医として、子どもたちのかかりつけ歯科医と連携してください。

執務記録

学校歯科医としての執務に従事したときには、その概要を「学校歯科医執務記録」に記入して校長先生に提出してください。養護教諭の先生に任せきりにせず、ご自身で記入、提出してください。図2に、平成24年6月都学歯広報104号に記載された執務記録の書式を示します。参考にしてください。

まとめにかえて

教育の場で、歯科の立場から幼児・児童・生徒の生きる力を育むことは、生涯、口腔機能を維持して健康、安全な生活を送るために大変重要です。

学校歯科医は単に医療者だけでなく、教育者としての役割を担っています。学校教育の目的や意義を理解して学校教職員や家庭、地域と連携して、学校保健を発展させて子どもたち将来を支援

認 印 欄	(学校長)		年 月 日	
	学 校 歯 科 医 執 務 記 録			
執務者氏名			印	
執務日時	月 日 ()	午前・午後 全 日	執務場所	学校、診療所(来訪電話等)、研修会、大会、その他()
執 務 の 概 要				
項 目			記 事	
1 学校保健委員会等 (1) 学校保健計画立案 (2) その他				
2 定期健康診断				
3 就学時健康診断				
4 臨時健康診断				
5 健康相談及び健康指導 (1) 健康講話 (2) 相談 (3) 健康指導 (4) その他			特 記 事 項	
6 学校保健に関する研修会、大会等				
7 授業参加				
8 学校行事に参加				
9 その他 (1) 救急時の処置 (2) フッ素塗布 (3) その他				
注意事項 1 学校歯科医は、職務に従事したとき、その状況をこの執務記録に記入し、校長に提出してください。 2 この執務記録は、執務日ごとに記入してください。1日のうちで執務が数種にわたる時でも、1枚にまとめて記入してください。 3 学校以外の場所で執務した時は、出校時に記入してください。				

図2 執務記録

していただくことを期待しています。

参考資料

- 「生きる力」をはぐくむ学校での歯・口の健康づくり(文部科学省)
- 学校歯科医の活動指針(改訂版)
(社団法人 日本学校歯科医会)
- 児童生徒の健康診断マニュアル(改訂版)
(社団法人 日本学校歯科医会)
- すぐに役立つ学校歯科医の活動マニュアル
(社団法人 東京都学校歯科医会)
- 学校歯科保健活動の場での“気づき”から生まれる「個」への対応
(社団法人 東京都学校歯科医会)

地区学校歯科医会からのメッセージ

東京都世田谷区学校歯科医会

会長 吉田 慶造

世田谷区学校歯科医会といっても、世田谷区全域の小中学校を傘下にしているわけではなく、一部は玉川学校歯科医会が受け持っています。幼稚園医7、小学校医48、中学校医21で、76施設を73名で担当しています。執行役員は会長、副会長の他11名の理事がおり、年11回の役員会を始めとして、年1回の会員懇談会では、会員間の親睦を深める様に努力しています。学校歯科医基礎研修会やブロック別学校歯科医研修会への参加、その他全国大会への参加を促しています。その他に城南七歯会学校歯科保健担当者連絡協議会なる会合も数年前より品川学校歯科医会の音頭で始められて、地域格差の解消と情報交換の場として活用されており、これには執行部三役が出席しています。会員の行う健康診査に極力差が出ない様にするという意味を込めて、2年前より、従来の電球照明スタンドをLEDライトスタンドに替える節には、玉川学校歯科医会の川口先生のご尽力をもって実現した経緯がありました。会員の行う学校歯科保健衛生活動が、よりやり易い環境になるよう努力していききたいと思います。次なる目標は、児童生徒数が六百名を越えている学校の定期歯科健康診査時における応援歯科医に対する報酬の確立化を目指して、今後区教育委員会と折衝していかねばなりません。今現在は、報酬の出ている場合と、無報酬となって担当歯科医の持ち出しになっている場合が混在している現実があります。一人一人に時間をかけて診ていかねばならない健康診査に不公平があってはならないと思います。予算を付けてもらえる様働きかける積りです。

昨年、平成23年は学校歯科医制度である「学校歯科医及び幼稚園歯科医令」が公布されて80年の節目にあたりました。そして又、本会も創立80年を迎えました。80年の歴史の中でも最近の10年を振り返ってみますと、世界の情勢とりわけ経済事情での大きな変化は、平成20年秋に、プライム



ローン問題をかかえて立ち行かなくなった「リーマン・ブラザーズ」社の倒産による、いわゆるリーマンショックでは、アメリカのみならず全世界的な経済不況をもたらしました。他方、日本の政治状況はというと、総理大臣が8人も変わる（森・小泉・安倍・福田・麻生、政権交代して、鳩山、菅、野田）という安定しない時代で、それぞれの首相の組閣毎に担当大臣も変わる為、口腔衛生関連法案に関しては空白の10年と言っても過言ではないように思います。その様な状況の中であっても、私達の学校歯科保健活動は停滞すること無く、粛々と続けられてきています。従来、世田谷区学校保健会の中の一委員会であった「むし歯予防委員会」と呼ばれていたものが「口腔衛生委員会」となり、同じく「肥満予防委員会」が「生活習慣病予防委員会」と名称を変えながら、確実に学校歯科保健の現場で機能していることは想像に難くないところです。むし歯だけではなく、その歯を支える歯周組織にまで目を向けた一口腔単位での評価になってきています。メタボリックシンドロームが成人の問題ではなく、小中学生の年代からの好ましくない生活習慣を是正することによって、将来的に罹患が疑われる疾病の芽を摘む努力をしていくようになってきていると思います。

先日、本会会員の安部弘幸君が昨年の選挙で世田谷区議会議員に当選したこともあって、彼の仲立ちで保坂展人世田谷区長始め、区教育長へ表敬訪問をして、本会と区とのパイプが従来通り太く通じていることを確認できました。先達の築き上げてきたこれまでのご努力による80年という実績に敬意を表しながら、今後益々学校歯科保健活動に邁進していく所存です。

一般社団法人調布市歯科医師会 学校歯科医部会

担当理事 弘中 玲子

調布市はその名前の由来となった多摩川（手づくりの布を多摩川で晒し、その布を調として朝廷に献上）と、起源は、はるか奈良時代に遡る深大寺が在り、湧水と緑に恵まれた自然豊かな処です。調布市制がしかれた昭和30年に4万3千人だった人口は、平成13年には18万人、そして現在22万人を超えるベッドタウンになりました。市立小学校20校、中学校8校、都立高校4校に32名の学校歯科医が非常勤特別職員として行政より委嘱され、二年毎に契約を更新しています。

従来の調布市学校歯科医会の歴史ですが、調布学校歯科医会として昭和28年に発足しました。その後昭和32年4月調布狛江学校歯科医会となり、昭和56年狛江地区と分離、調布市学校歯科医会として現在に至りましたが、調布市歯科医師会が平成23年に一般社団法人化され、学校歯科医会は平成24年度に本会と統合し、学校歯科医部会として組織化され新たなスタートを切りました。

会計は特別会計とし、部会員からの会費、及び行政からの委託事業費（小、中学校の刷掃指導関連費、健診補助費）を予算計上しています。

以前の役員会は学校歯科医部会委員会となり、担当理事と委員3名で構成され、各自都学歯の参事、評議員、学術委員、学校保健会の役員を務めています。

部会員の対外的活動としましては、日学歯、都学歯共催の学校保健研修会、学校歯科医基礎研修会を80パーセント受講、各種全国大会研修会にも積極的に参加し、その受講報告書は部会としての研修会に資料として活用されています。

この報告書は年度末に部会に提出され、「学校歯科医年間活動表」として集計、公開し、委嘱更新時の参考資料にもなります。



学校歯科医は、各校養護教諭との連携を密とし、今年も行政よりの要請で、養護教諭対象の研修会「小・中学生の歯科に関わる事故の現状と初期対応」をタイトルとした講習会を部会委員が講師として招聘されました。

また、23年度迄、本会と共催していた「歯と健康のつどい」にも、部員は積極的に参加し、イベントである児童生徒達の図画・ポスターコンクール応募に尽力し、毎年500枚を超える作品が集まります。入賞作品はこの「歯と健康のつどい」の会場で展示・表彰され、毎年子ども達とその家族で会場は大賑わいです。

今年も東京都歯科医師会の図画・ポスターコンクールにおいて、本年度学校歯科医部会賞の作品が入賞致しました。

さて、今年も忘年会企画の時期です。例年、集まりのいい学校歯科医会の忘年会は、今年から学校歯科医部会の総会に代わる、部会員相互の意見交換の場の忘年会となりますが、皆さんの忌憚のない意見を吸い上げ、今後の部会運営に反映していきたいと思います。

最後に学校歯科医部会の悩みを一つ。部会委員会での協議、決定事項は当然の事ながら全て本会理事会に挙げられ、部会独自の決定権が無い事を申し添えたいと思います。

インターネットでの 第69回学童歯みがき 大会に参加して

平成24年6月4日（月）、（社）日本学校歯科医会・（財）東京都学校保健会・（公財）ライオン歯科衛生研究所・ライオン（株）の主催、文部科学省等の後援による「第69回学童歯みがき大会」が開催されました。日本から643校が、またアジア5カ国（中国・韓国・香港・シンガポール・フィリピン）から6校が参加し、約36,000人の小学生が歯・口の健康について学びました。今年度よりインターネットのみで行われるようになりました。



今回、都内の小中学校で参加した学校歯科医に感想を書いてもらいました。

東京都青梅市立河辺小学校

学校歯科医 高野 真

本校では、学校長と養護教諭の協力のもと、これまで毎年3年生を対象に歯の大切さを一人でも多くの児童に実感してもらいたいという思いで、講話と歯磨きの指導を続けてきました。

そしてその集大成として、昨年度（第68回）より6年生全員を対象に学童歯みがき大会（インターネット）に参加しています。学校の代表として全国各地や海外から参加する小学生とリアルタイムで時間を共有できることと、興味深い内容が多いためか、皆真剣に取り組んでくれています。感想文からも、一人ひとりの積極的な姿勢を読み取ることができて、児童たちの理解力や成長は本当に素晴らしいものだ改めて実感しています。

日々カリキュラムをこなしていかなければならない小学校生活の中で、時間を割いて「歯」や「自分の健康」について考える機会を作る事は決して

容易な事ではないと思います。

しかし児童一人ひとりの生き生きとした表情を見ていると、その機会を与える必要性を強く感じますし、その中で学童歯みがき大会（インターネット）は、その一助になると考えています。

将来にわたる健康観を育んでいくための貴重な体験のひとつと位置づけ、これからも小学校と連携して継続して参加していきたいと思っています。

品川区立城南第二小学校

学校歯科医 東川輝子

インターネット参加校が昨年の2倍以上に増えたそうです。今年の「歯と口の健康教室」は、明海大学学長の安井利一先生による「いい歯を支える歯ぐきのヒミツ」と題し、チェックシートを使ったり、クイズ形式を取り入れたりして、自分の歯ぐきの観察方法などを学びました。

練馬区立石神井西小学校

学校歯科医 草柳英二

「ワー」とはしゃぐ子ども達の歓声、テレビを見ながら歯みがき指導を受けている児童の授業風景です。児童達は、どちらからと言いますと楽しんでいるようにも見受けられました。平成24年6月4日練馬区学校歯科医会は、5校の小学校がインターネットで全国学童歯みがき大会に参加いたしました。練馬区立石神井西小学校では、校長先生・担任及び養護の先生・練馬区教育委員会・父兄の方々が見守るなか4年生2クラス48名が一教室に集まり、クイズ方式の回答に回りを気にしながら各々楽しそうに答えておりました。先生方も画像を見ながら真剣に取り組んでおり、歯みがきの大切さをさらに理解してくれたようです。私たち歯科医師の立場からは、給食後の歯みがきを是非ともお願いしたいと思います。「インフルエンザの予防にもなりますよー！」来年もまた多くの小学校がインターネットでの参加をお願いしたいと思います。



杉並区学校保健会一般研究

杉 並

平成24年6月21日、座・高円寺にて第55回杉並区学校保健会総会が行われ、このなかで、杉並区学校歯科医会が一般研究として実施課題名「日本人小児における顎関節の自覚症状と生活習慣・性格傾向との関連性」を当会理事、米津光将が発表した。

当歯科医師会では、平成14年・平成20年に「顎関節症の異常に関するアンケート調査」の結果、顎関節の異常は小学校5・6年生から増える事が分かった。その原因として、生活習慣・生活環境・成長による骨格の変化・ストレスなどの影響を考察した。しかし、今回の研究の結果、症状に与える影響力として、日中の



食いしばりやほおづえ・首や肩の痛み・年齢や身長の変化の順序でみられた。

まとめとして、個人の生活態度を改め姿勢を良くすることで、顎関節症になる可能性を著しく減らし、それに伴う頭痛や肩こりによって学校を休むことも減らせる可能性があることがしめされた。（吉野勝久）

地区ニュース

歯・口の健康に関する 図画・ポスターコンクール

板 橋

平成24年7月24日19時30分より板橋区歯科医師会館2階会議室において、板橋区、板橋区歯科医師会、板橋区学校歯科医会主催による歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクールが開催されました。図画7校251点、ポスター11校315点出品されました。特賞、1位、2位、3位、会長賞（ポスターのみ）、佳作、努力賞を選び、それぞれの特賞は東京都歯科医師会のコ



ンクールに送られました。ポスターの会長賞は、来年の「歯の衛生週間ポスター」になります。

（神林秀昭）

地区ニュース

麻布赤坂学校歯科医会 基礎研修会

麻布赤坂

平成24年9月14日、麻布赤坂歯科医師会事務所において麻布赤坂学校歯科医会基礎研修会が行われた。テーマは「学校健診におけるCO、GOのキャリブレーション」であった。氏家副会長の開会の辞の後、朝倉健太郎理事より研修の手順の説明が行われ、その後参加者各自が抜去歯を用いカリエスの判定を行った。その全員の判定結果を集計している間に、カリエス・歯肉炎の判定基準について朝倉理事より説明が行われ、次に清水浩一理事より歯列・咬合、顎関節などの判定基準について説明が行われた。カリエス判定においてのCO要精検についての取り扱いを注意するように、また、歯列・咬合や顎関節についてはなるべく保健調査票などを用いたほうがよい、個々のケースに



応じてアドバイスができるとよいとの話であった。集計終了後、各自が全員の判定結果と比較して自分の傾向がどのようになっているのか確認を行った。

本年度より、麻布赤坂歯科医師会の公益法人化にともない、当学校歯科医会と保育園歯科医会が統合され新しい組織としてスタートした。保育園には明確な健診基準はないとのことだが、合同で研修会を行っている。（清水浩一）

地区ニュース

公益社団法人八南歯科医師会八王子支部 第1回学校歯科医の集い

八王子

平成24年10月24日（水）20時より八南歯科医師会館において標記の集まりが開催されました。飯田女子短期大学家政学科保健養護コース准教授、安富和子先生をお迎えして、「かみかみセンサー」を用いた咀嚼の指導の実態とその使い方を、わかりやすく講義して頂きました。



トピックス

城北ブロック連絡協議会

平成24年6月21日（木）19時30分より練馬区歯科医師会3階大会議室にて第5回東京都学校歯科医会城北ブロック連絡協議会が開催された。佐藤貞彦練馬区学校医会会長の挨拶・川本強東京都学校歯科医会会長の来賓挨拶の後、「練馬区学校歯科医会の活動」を小杉京子練学歯学術担当理事・南誠二練学歯総務理事が報告をした。その後、各地域の現状について板橋区学校歯科医会・荒川区学校歯科医会・豊島区学校歯科医会・北学校歯科医会・滝野川学校歯科医会の報告をなされた。また、同会館2階会議室において西連寺練馬



区学校歯科医会名誉会長の乾杯で懇親会が開催され、東京都学校歯科医会城北ブロック連絡協議会は無事終了した。
（草柳英二）

トピックス

第63回関東甲信越静学校保健大会・歯科職域部会

平成24年8月2日（木）埼玉県さいたま市のパレスホテル大宮3Fチェリールームで埼玉県歯科医師会の主催のもと開催されました。演者に東京歯科大学解剖学教室教授 井出吉信先生が講演されました。関東甲信越静の先生方約120名が聴き入りました。来年は東京都が担当しハイアットリージェンシーで開催する予定です。



トピックス

平成24年度 東京都立高等学校保健研究会役員連絡協議会

平成24年9月10日（月）18時より歯科医師会館2F上記連絡協議会が行われ、養護教諭から事前にだされた質問に都学歯理事が回答した。健康診断する歯科医に問題があることもあるがその場合学校歯科医会に所属していない歯科医のこともあり、どのように改善するか活発に議論された。健康診断においてダブルミラーの使用については都教育庁に要望をお願いした。



トピックス////

平成24年度 歯・口の健康に関する 図画・ポスターコンクール審査会

平成24年9月20日（木）17時30分より東京都歯科医師会主催の標記審査会が開催された。今年度は50地区より15,092作品の応募があり、各地区より120作品が推薦された。

20名の審査委員の投票により小学校低学年、小学校高学年、中学校部門の1位～3位までの優秀作品16点が選出された。本会ではこの中から来年度の「歯の衛



生週間」ポスターに使用する作品を選出する予定である。

トピックス////

平成24年度 第1回予算決算特別委員会

平成24年11月1日（木）16時より、歯科医師会館3F会議室において、平成24年度第1回予算決算特別委員会が開催されました。

第1回ですので、役員、委員の紹介の後、委員長に粕江の松浦康文先生、副委員長に中野の大竹 徹先生が選出されました。次に会計より現在の会費納入状況が報告された後、平成25年度の収支予算の説明がなされました。また専務より平成25年度の事業計画が説明され承認されました。



トピックス////

平成24年度 ブロック別学校歯科医研修会

平成24年度ブロック別学校歯科医研修会が東京都教育委員会、(財)東京都学校保健会、(社)東京都学校歯科医会の主催で開催され、今年度は城南ブロックが平成24年9月13日（梅ヶ丘パークホール）、城北ブロックが平成24年10月18日（豊島区歯科医師会館）、多摩ブロックが平成24年11月15日（府中グリーンプラザ）の3ブロックで開催されました。平成24年度はこの3月に発行された「学校歯科保健活動の場での“気づき”から生まれる「個」への対応」という冊子に基づき講演されました。近年、一人平均DF指数は低くなっているものの、依然として多数のむし菌をもつ子どもがおり、平均化したことで見えなくなっている問

題点があり、また歯周疾患や歯列・咬合の問題、顎関節の問題にも関心が高まってきています。集団に対する歯科保健活動だけでなく、個別対応していくことが必要であると話されました。



城南ブロック



城北ブロック



多摩ブロック

トピックス////

平成24年度 学校保健（学校歯科医）研修会

平成24年7月19日（木）10時より学校保健（学校歯科医）研修会が都教職員研修センターにおいて行われた。鈴木専務理事の司会のもと、由井副会長が開催を宣言され五十里東京都教育庁地域教育支援部歯科保健課長、野中東京都学校保健会会長、川本東京都学校歯科医会会長の挨拶の後①「疫学からみた学校歯科保健活動へのヒント」を神奈川歯科大学歯科医療社会学分野 山本龍生准教授、②「学校歯科医の職務につい



て」を五十里一秋先生が講演された。

トピックス////

平成24年度 学校歯科医基礎研修会

平成24年度学校歯科医基礎研修会が平成24年7月19日（木）13時より都教職員研修センターで渡邊理事の司会のもと、由井副会長が開催を宣言され川本東京都学校歯科医会会長、中田日本学校歯科医会会長が挨拶された。講演は、

- ① 「学校歯科保健の概念」
東京都学校歯科医会理事 橋本 健一
- ② 「学校歯科保健における保健教育」
東京都学校歯科医会理事 中村 卓志
- ③ 「学校歯科保健における保健管理」
東京都学校歯科医会理事 小嶋 憲



- ④ 「学校歯科保健における組織活動」
東京都学校歯科医会理事 高橋 文夫
によって講演され、小嶋副会長が閉会を述べた。

トピックス////

歯の作文審査会

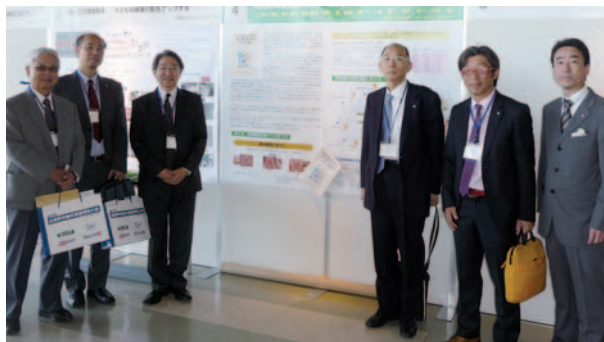
平成24年9月13日（木）15時より、歯科医師会館2F会議室において本会理事、および会誌・広報委員会委員により第1次審査が行われた。応募者605名（小学生409名、中学生196名）で多数の力作が寄せられ、審査基準のもと厳正な審査が行われた。



トピックス////

第76回全国学校歯科保健研究大会

平成24年10月25日（木）、26日（金）にわたり、群馬県高崎市で開催された第76回全国学校歯科保健研究大会に、東京都学校歯科医会からポスター発表がされました。学校歯科保健活動の場での“気づき”から生まれる「個」への対応に関する発表で、多くの学校歯科医、歯科衛生士、養護教諭が熱心に見学されていました。



食後の歯みがきのタイミング

この夏「食後すぐに歯をみがくと歯が溶けてしまう。食後の歯みがきは30分以上あけてからしたほうが良い」といった内容がテレビなどで伝えられ話題となりました。これは「酸蝕症」という症状が出ている人に限られた話で、試験管内で歯を溶かした実験データに基づいた提案です。

通常のお口の中では、食べた後すぐに汚れを除くことは、むし歯の予防に有効な方法です。このため東京都学校歯科医会は、子どもが生涯を通じて健康な生活を送る基礎となる基本的な生活習慣形成として「食後の歯みがき」を引き続き推進する方針です。また歯みがきの指導に当たっては画一的なものにならず、子ども一人一人を取り巻く環境等を考慮して場面によって「個」への対応を踏まえた指導が必要と考えています。

参考として、日本小児歯科学会からの見解発表もご覧下さい。

http://www.jspd.or.jp/contents/gakkai/information/2012_01.html

〔参考〕

<日本学校歯科医会 見解>

近時、新聞やテレビ等マスメディアにおいて「食後30分以内の歯みがきを行うことについて」の是非について報道され、学校現場において給食後の歯みがき指導などをおこなうにあたり一部で混乱を招いている。

歯科口腔保健法により歯・口の健康と全身疾患との関連が体系づけられていく中で、歯垢清掃を含めた学校歯科保健活動は、子どもたちの生涯にわたる歯・口の健康づくりの基礎をなすものである。また、子どもたちを取り巻く生活環境の変化の中で、むし歯を防ぐための食生活指導に関連した歯みがき指導は、健康教育の一環として、さらには身体の清潔を保つという望ましい生活習慣形成という視点からもきわめて重要な位置づけにあると考える。

社団法人日本学校歯科医会としては「食後30分以内の歯みがき」の是非については、EBMを研究するものではないが、学校における子どもたちへの歯みがき指導は、従来通り「食べたらみがく」という視点をもって進めて行くことが望ましいと考える。



第47回 東京都学校歯科保健研究大会

期 日 平成25年 2 月 7 日 (木) 12:30受付開始

会 場 文京シビックホール 小ホール

日 程 13:00 開 会

表 彰 式 学校歯科保健優良校入選校・歯の作文入選者
学校歯科保健功労者・学校歯科医30年勤続会員

13:40 優秀作文発表 小学校・中学校 代表各1名

作文講評 山下 理恵 (千代田区小学校国語教育研究部長)

14:10 音楽演奏 文京区立本郷台中学校 合唱部

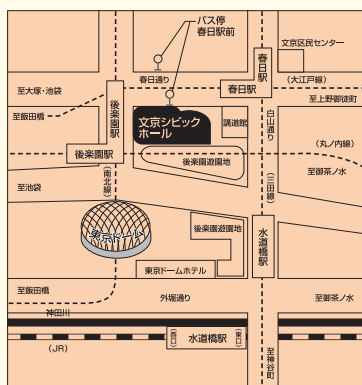
14:40 特別講演 食育研究家・料理研究家 吉原ひろこ

「食事の時間は命の時間～真の食事の時間を取り戻す～」

15:40 研究発表 「生徒が自主的に考え実践する歯と口の健康づくりの推進」

～むし歯予防を通しての生活習慣病の自主的な改善～ 文京区立第六中学校
(敬称略)

16:10 閉 会



文京シビックホール

〒112-0003 東京都文京区春日1-16-21

TEL 03-5803-1100

【最寄り駅】

- 東京メトロ丸ノ内線「後楽園駅」 →4aまたは5番出口(徒歩1分)
- 東京メトロ南北線「後楽園駅」 →5番出口(徒歩1分)
- 都営地下鉄三田線「春日駅」(文京シビックセンター前)
- 都営地下鉄大江戸線「春日駅」(文京シビックセンター前)
→文京シビックセンター連絡通路(徒歩1分)
- JR中央・総武線「水道橋駅」 →東口(徒歩9分)

会 務 報 告

4/5 (木)	都府附属歯科衛生士専門学校入学式	会館
	第1回理事会	会館
4/10 (火)	会計打合せ	会館
4/11 (水)	武蔵野市歯科医師会 学校歯科医研修会	武蔵野市歯科医師会
4/12 (木)	第2回理事会	会館
4/19 (木)	第1回会誌・広報委員会	会館
	第1回事業部打合せ	会館
	第3回予算決算特別委員会	会館
4/24 (火)	監査会	会館
4/26 (木)	東京都学校歯科保健推進校支援事業打合せ	東浅草小学校
4/27~28	事務所改修工事	会館
4/28 (土)	第1回学術研究小委員会	港区芝歯科医師会
5/10 (木)	第3回理事会	会館
	第1回参事会	会館
5/17 (木)	新法人移行手続き打合せ	会館
	第2回会誌・広報委員会	会館
5/24 (木)	第67回評議員会	会館
	第67回総会(評議員会終了後)	会館
5/31 (木)	都学歯大会 文京区障害者会館 下見	文京シビックセンター
	第2回事業部打合せ	会館
	学校歯科保健推進校支援事業選定校連絡会	会館
	第2回学術研究小委員会	会館
6/4 (月)	第69回学童歯みがき大会	インターネット
6/7 (木)	歯の作文審査依頼	富士見小学校
6/10 (日)	新会館落成記念祝賀会	大森歯科医師会
6/14 (木)	第4回理事会	会館
	第3回会誌・広報委員会	会館
	第81回日学歯総会 代表会員打合せ	会館
	第1回学術研究委員会	会館
6/21 (木)	第3回事業部打合せ	会館

基礎研修会 予演会	会館
生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり推進事業	
実施校連絡会	会館
城北学校歯科医会連絡協議会 練馬区歯科医師会	会館
第81回日本学校歯科医会総会	会館
第3回学術研究小委員会	会館
「よい歯の集い」(葛飾区学校歯科医会)	
	テクノプラザかつしか
歯の衛生週間表彰式(杉並区歯科医師会)	
	セッション杉並
多摩ブロック②地区学校歯科医会連絡協議会	
	八王子クリエイトホール
第4回事業部打合せ	会館
基礎研修会予演会	会館
第5回理事会	会館
優良校表彰審査会	会館
第4回会誌・広報委員会	会館
学校保健(学校歯科医)研修会	
	都教職員研修センター
学校歯科医基礎研修会	都教職員研修センター
江東地区連絡協議会	柴又
第4回学術研究小委員会	会館
関東地区歯科医師会役員連絡協議会	埼玉県
第1回選定校小連絡会	会館

【訃 報】

町 田 市	荒川 博一 (武蔵岡中学校)	H24. 3. 23逝去
調 布	小林 朗男 (調布南高校)	H24. 5. 8逝去
板 橋	山瀬 勇 (赤塚第二・北野高校)	H24. 6. 23逝去

上記の先生がご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り致します。(敬称略)